

## ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する意見

意見提出元	株式会社テレビ西日本
意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送事業者は番組を制作するに当たって様々な周波数をその周波数の特性にあった使い方で使用しています。その中で、3.4-3.6GHz帯の放送事業用固定局は別の周波数帯に移行させる計画を進めており、ブロードバンドモバイルの発展に協力しています。また、770MHz～806MHzはFPUとして見通しのきかない場所での中継等で使用しています。</li> <li>・ローカル局は受信ポイントを多く持つことが困難で受信ポイントの見通しが出来ない中継では800MHzに頼らざる得ない状況です。</li> </ul>
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題	<p>現在進められている800MHz帯FPUの高度化に期待しています。高度化が実現すれば、HDでの伝送が可能となり770MHz～806MHzでの利用率も向上します。</p>
(3) 関連する国内外の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・800MHz帯映像FPUは、見通し外伝送が可能のため、遮蔽物が多い場所での伝送や移動しながらの中継等において最も威力を発揮しております。マイクロ波帯FPUやSNGによる伝送が困難な場合にも確実な伝送を行うことが可能なものであり、報道中継／スポーツ中継などテレビ番組制作全般に幅広く利用されています。</li> <li>800MHz帯映像FPUは、今後とも放送事業者にとって必要不可欠な無線システムです。</li> <li>・800MHz帯映像FPUは、携帯電話や無線LANと比べると市場規模は小さいかも知れませんが、その内容を比べると社会的役割は勝るとも劣らない物と考えております。この為ワイヤレスブロードバンドの高速化と共に放送無線の更なる発展も社会的利益に繋がると思われます。</li> </ul>
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	<p>ワイヤレスブロードバンドの新たなシステムが導入される場合は、既存システムへの影響が出ないよう最大限の配慮を希望します。</p>